

『茨城県フラワーパーク』の大規模リニューアルについて

2020年2月28日
茨城県・石岡市

茨城県では、2019（R1）年度からの2ヶ年度計画で、『茨城県フラワーパーク』を本県の魅力を再発見・再発信できる観光拠点として一新するための設計・改修工事等を進めています。

今回、2021（R3）年4月下旬頃のリニューアルオープンに向けた新生フラワーパークの「プレイアップ第1弾」として、**キャッチコピーやロゴ、主要施設のイメージパース等**について、お知らせします。

➤ リニューアル工事スケジュール（予定）

【2019(R1)年度】	基本設計，ワークショップ施設の改修工事 等
【2020(R2)年度】	実施設計，レストラン・エントランスギャラリーの新築工事， インフォメーションセンターの改修工事 等 ※2020(R2)年6月22日から休園予定
【リニューアルOP時期】	2021(R3)年4月下旬頃 を予定

➤ リニューアル事業費（R1～2年度） 約20億円

施設概要

【所在地】	石岡市下青柳200
【敷地面積】	12ha（隣接に石岡市ふれあいの森（18ha）あり）
【所有・管理】	茨城県：建物・工作物の設置（石岡市へ無償貸付） 石岡市：施設設置及び管理，指定管理者の指定，土地（一部借地）所有
【指定管理者】	茨城県フラワーパーク指定管理業務共同事業体(2019.7～) (株) パーク・コーポレーション（東京都港区），（一財）石岡市産業文化事業団

コンセプト

「見るから感じる」フラワーパーク

県花のバラを中心に花や緑・自然、いばらきを五感で感じるフラワーパークへリニューアル

ご家族・ご友人をはじめ幅広い層の方が、ゆっくりと五感を使っていばらきの魅力を再発見できる場所へ

見る

四季で変化するバラテラス。花の色別にわけたエリア

聴く

花・草・木のざわめき、森の小鳥のさえずり、風の音

香る

360°バラの香りに包まれるエリア

触る

ワークショップを充実。
年間で100の体験ができるプログラム

味わう

レストランを新設。
茨城県産の食材を中心に提供

キャッチコピー

感じる いばらきフラワーパーク

Feel, IBARAKI FLOWER PARK

ロゴ



IBARAKI
FLOWER
PARK

いばらきフラワーパーク

名称

県内で長年親しまれた名称の印象を変えることなく、**県外やインバウンドのお客さま**にも親しみを持って呼んでいただけるよう、そして英語表記やロゴになった時の汎用性を高めました。

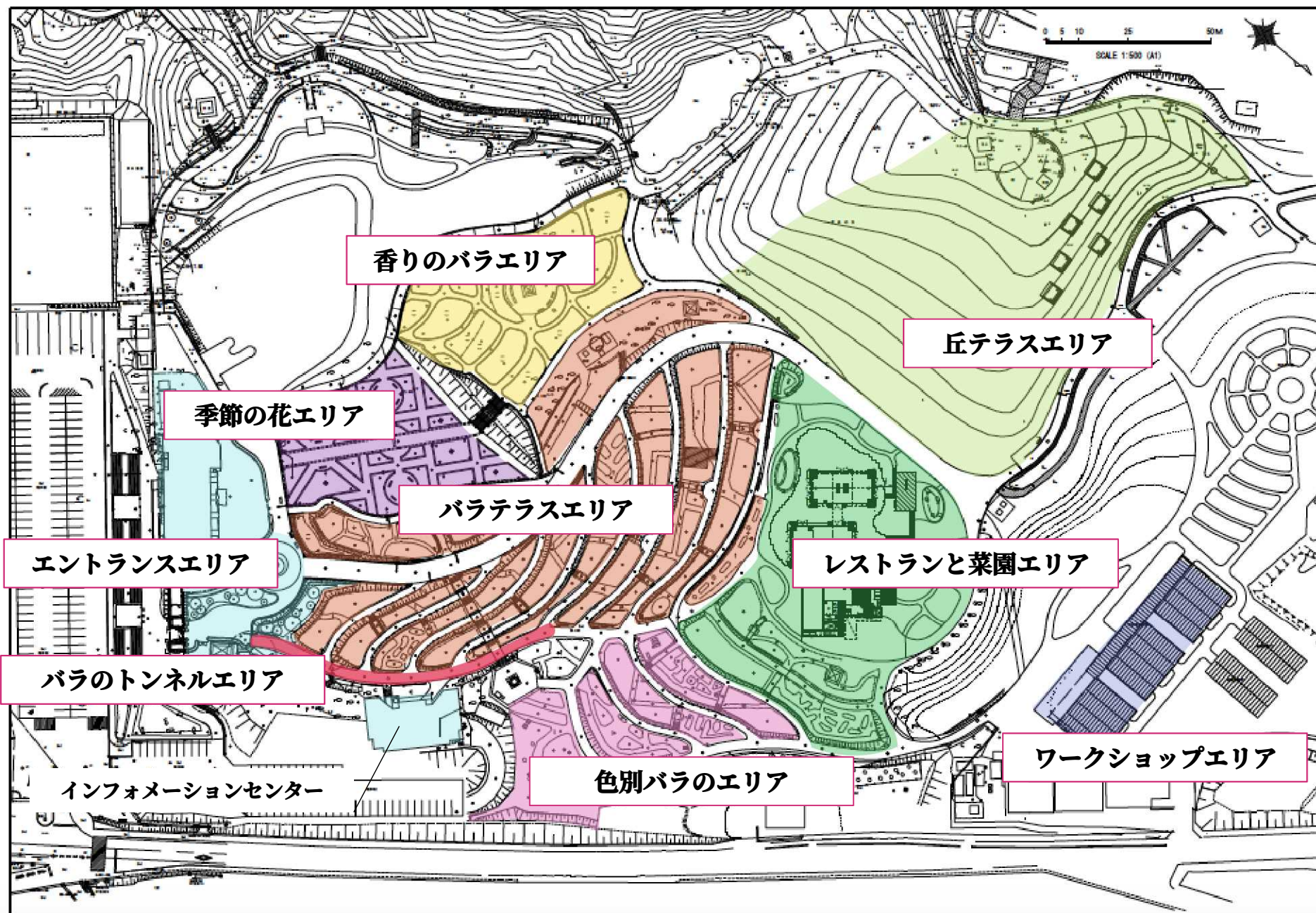
ロゴマーク

茨城の県花である“**バラ**”がメインのモチーフ。そこに日本らしい季節を楽しむことができる施設であることを「**春夏秋冬**」の英語の頭文（SSAW）をデザイン要素に入れて表現しています。

オープン

2021（R3）年4月下旬オープン予定
改修工事に伴い2020（R2）年6月22日より休園。

施設配置



エントランスエリア イメージパース

エントランスギャラリー



県産石材を使ったエントランス

バラテラス



四季の花の川

園内の施設



レストラン



ワークショップ



インフォメーションセンター



園内ガーデン

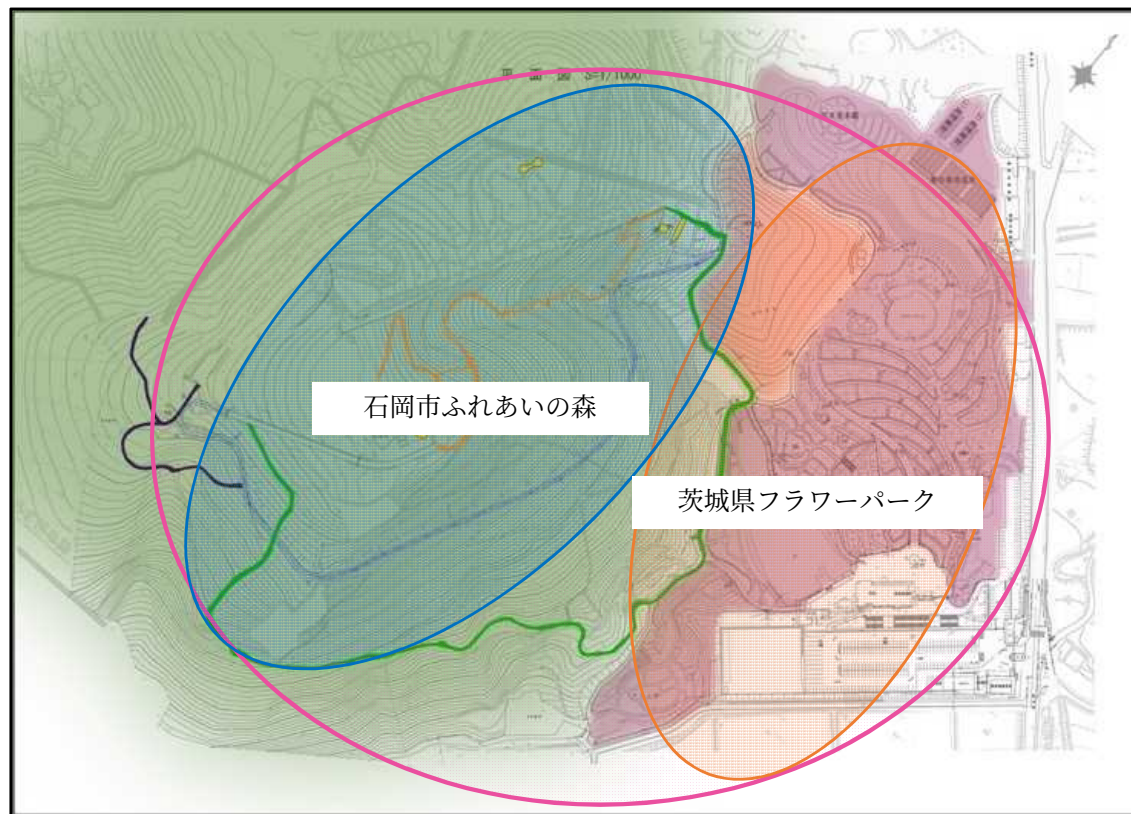
全景イメージ



『石岡市ふれあいの森』の大規模リニューアルについて

2020年2月28日 石岡市

施設概要



・茨城県フラワーパークの高台にある約18haの「石岡市ふれあいの森」。

・園内には、**手入れされた里山ならではの美しい自然**と、250本の河津桜を始めシャガやヤマユリなど**四季折々の花々**。

・延長800mの“花のすべり台”や“フラワーサイクル”などの遊具は**子どもたちにも大人気**。

目的

- **豊かな自然と地域に根ざした里山文化が体験でき、森のここちよさと大切さを未来に向かって継承する滞在型観光施設**としてリニューアルを行ないます。
- 宿泊施設はロッジのほか、グランピングサイト等を整備予定。
- 様々な森を体験できる仕掛けで、フラワーパークと行き来しながら一日中楽しめる施設を目指します。

リニューアル概要

コンセプト

やさとの森に暮らす ～人生を変える里山の体験～

かつて里山には、**人と自然が共生する持続可能な暮らし**がありました。子ども達は森で遊びながら、木や動物、昆虫、星について学び、健やかに成長しました。森の資源をみんなで守り、大切に使いながら、自然とともに豊かに生きる。そんな**未来の生き方を体験できる施設**を目指します。

主要エリア

本計画では4つのゾーンを検討しています。

- ① 森の入り口ゾーン
- ② 森の小道ゾーン
- ③ 森の暮らしゾーン
- ④ 森の探検ゾーン

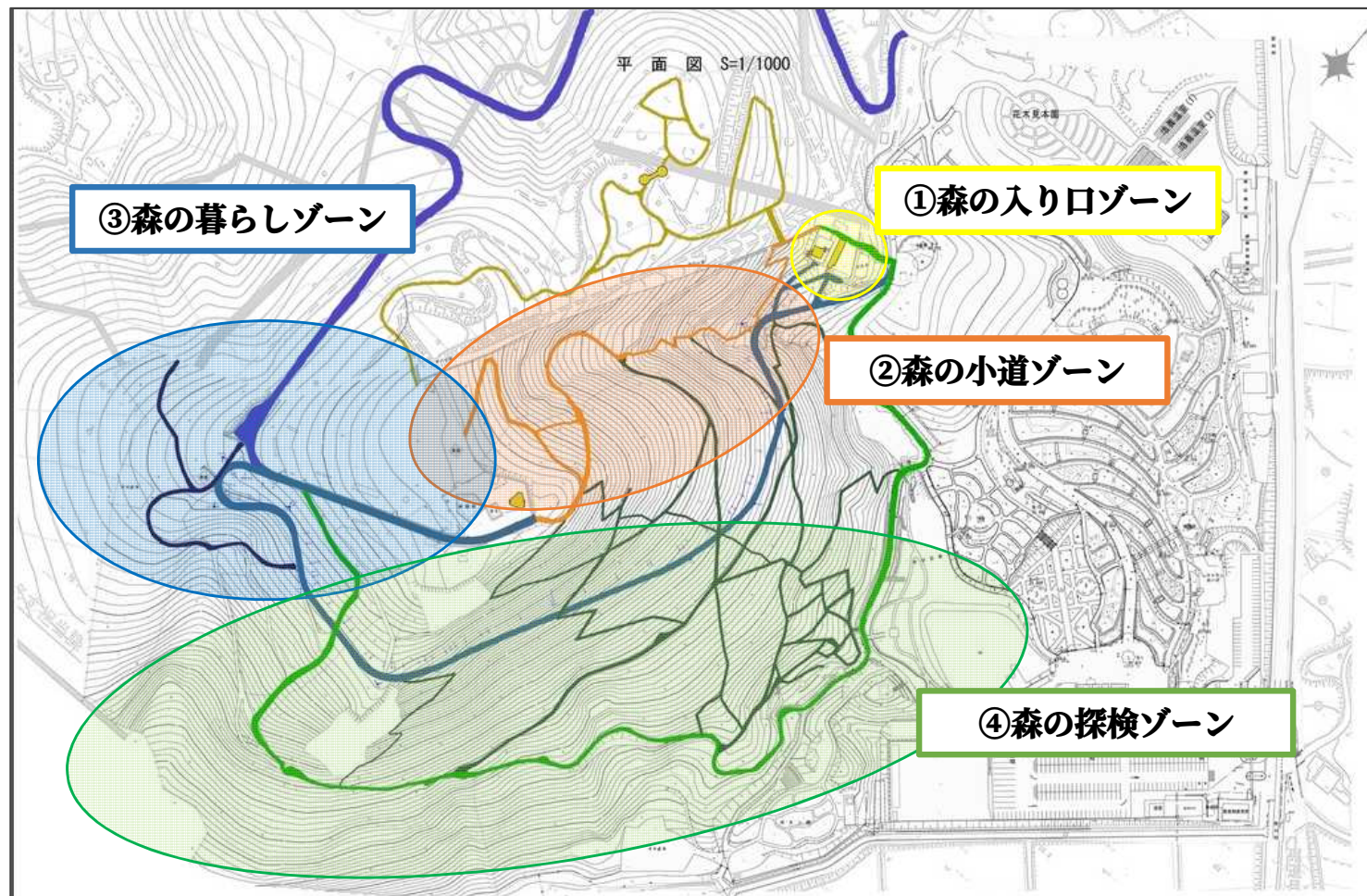
事業費

約3億6千万円（2019（R元）年度3月補正予算）

オープン

2021（R3）年4月下旬頃を予定

施設リニューアルイメージ ゾーニング



各ゾーンごとの特性を生かした、森を体感できるアクティビティを提供し、記憶に残る体験をつくります。

星空サークルデッキ



森の間伐材や県産材を活用したデッキの上で、パノラマの景観や星空を楽しめます。

宿泊施設 イメージパース



デッキ下部に円形にロッジを配置し、客室や管理棟、炊事場等の機能を計画しています。
中央の広場では、キャンプファイアーや野外ライブなどのイベントを囲んで楽しむことができます。

各ゾーン整備計画 イメージ



①森の入り口ゾーン

森に入りたくなるワクワクを仕掛ける



②森の小道ゾーン

森に分け入っていくウキウキを仕掛け頂上まで導く



③森の暮らしゾーン

里山で暮らすようにのびのびと過ごしてもらう



④森の探検ゾーン

森の面白さに気づいてヘトヘトになるまで遊んでもらう